



夏季利用終わる

7月19日から8月31日までの、目の回るほど忙しい夏季期間の利用が終了しました。今年度は74団体、延べ利用者数約1万4千人、60家族・グループ、延べ利用者数約8百人でした。合計の延べ利用者数は約1万5千人になりました。このように多くの団体にいろいろなプログラムで活動して頂いていますが、昨年度から団体の活動をもっと多様化に出来るようにマイクロバスを使つての送迎支援を実施しています。そのためか以前より標高2524mの編笠山に登る団体・家族が増えました。少年自然の家から登ると片道5時間近くかかったものが、標高1500mの観音平まで車で行くところ3時間で頂上まで行くことができようになります。短時間での登山が可能になったからと考えられます。また、パノラマスキー場まで送迎することによってゴンドラで1780mのところまで行き、1955mの南アルプスの入笠山への登山も簡単にできるようになりました。それで以前に比べて入笠山へ登山する団体や家族が増えたようです。頂上からの展望は360度のパノラマで、東に富士山、西に北アルプスの山並み、眼下に畑や田んぼの中に点在する富士見町、原村、茅野市の家々が、まるで航空写真のように見渡せます。

所長のひとりごと 13

三井 一 則

連日、猛暑が続いていた7月の終わりころ、風がそれまでと違って涼しく感じられた朝、自由広場へ下る道のナナカマドの枝先のいく枚かが葉を染め始めていた。実はすでに赤みをおびている。白い花をつけていたころ「この花が紅い実をつけるころ、また八ヶ岳に来てください」と言って送った学校があったけど、あの子供たちはどうしただろうとふっと思い出した。手折って紹介した木のことを調べたのだろうか、名前を言わなかったからもう忘れていたろう。あのころはまた、ヤマユリの開花の最盛期でもある。窓を開けていると、暑さに和らいた風が強い香りを部屋の中まで運んでくる。そのこと教えてあげられなかったが、夏休みの連日にぎわった利用団体の中には、色づき始めたナナカマドの赤い実も満開のヤマユリの匂いにも気づいてくれている子どもたちがいたに違いない。故あって利用した時期が最高の時期であってほしい。天候はままならなくとも、何時の季節でも最良の贈り物は自然の恵み、自然の姿だ。オミナエシが咲き出して、季節の花はもう夏から秋へ衣替えを始めている。

2008. 9. 1



主催事業

7月12、13日、第2回目の「自然探検隊」が実施されました。これは川崎市の子どもと富士見町の子どもが交流し仲良しになることにより、微力ながら川崎市と富士見町の友好都市関係を深めようというものです。この事業は少年自然の家と川崎市青少年科学館が共催で行っています。今回は富士見町の子ども14名が川崎の青少年科学館へ出かけました。青少年科学館では19名の川崎の子どもが待ち受けていて、早速名刺交換をし、一緒に世界一のプラネタリウム・メガスターの見学、ロウを使った科学工作に挑戦しました。この日は青少年の家に宿泊し、翌日は一緒に新江ノ島水族館へ出かけました。水族館ではイルカのシヨ

ーを見学したり、ヒトデやイソギンチャクなど磯の生物や魚に触れたりしました。また、海草を使った工作もし、お土産にしました。このような体験を協力してすることにより川崎と富士見の子供はす



岡本太郎美術館で

自然探検隊

っかり仲良しになりました。次は10月に川崎の子どもたちがこの少年自然の家にやってきて富士見町の子どもと交流することになっています。もう顔見知りになっているので、もっと仲良しになることができますでしょう。

毎月実施している八ヶ岳自然紀行は7月6、7日に「ホテルと美術館めぐり」を実施しました。参加者は12名で、ゲンジボタルとハイ

ケボタルの飛び交うさまを見学しました。美術館は平山郁夫シルクロード美術館、原田泰治美術館、

ガラス工芸を主に観賞できる北澤美術館をめぐりました。8月は29、31日に「八ヶ岳登山」を実施し

ました。参加者は9名で、天女山から標高2715mの権現岳に日帰りで登りました。最終日に鼻戸屋ハイキングをし、足をほぐして解散しました。

「ふじみ星空観察会」は7月11日に好天に恵まれ実施しました。7月の星座観察、天体望遠鏡による月面、土星、木星などを観賞しました。参加者は35名でした。8月は繁忙期のためお休みでした。

富士見町のホタル

川崎では6月初めからゲンジボタルが見られますが、標高の高い富士見町では6月末からです。7月7日の七夕の頃、一番多く飛び交いますが、ゲンジボタルとハイケボタルが仲良く飛び交っています。ゲンジはピカリー、ピカリーと強い光を発しますが、ハイケはピカ、ピカとゲンジに比べると少し弱い光をせわしくなく減させているのですぐ判ります。ゲンジボタルのピカリー、ピカリーと点滅する間隔4秒が関東型、2秒が関西型といわれています。その境はフォッサマグナだということですが、フォッサマグナ上に位置する富士見町ではどちらの型か注目に値しません。両方が交配して3秒型ではないかとも言われています。



施設紹介

管理棟(センターハウス)

少年自然の家に来るとまず訪れるのが管理棟です。事務室があり、受付をするところだからです。少年自然の家の中枢になっています。事務室には職員が揃っています。また、外部からの電話・ファックスは全てこの事務室に入ります。事務室では清算業務もしているのですが、退所する時はここで支払いをして頂きます。ですから入所時と退所時には必ず訪れるのがこの管理棟の事務室です。また、マイクやアンプ、コードリール、コンパス、ゼッケン等を貸し出すのもこの事務室になります。

管理棟には事務室のほか、所長室があります。所長室には応接セットが置いてあり、少年自然の家利

用者以外、いろいろな用事で訪れる来客の対応をします。その他に会議室があります。会議室は会議や打合せに使いますが、夏季利用期間は売店に転用しています。売店は会議室の隣にあります。16



mほどの小さなスペースです。通常はこれで十分なのですが夏季の利用団体に対応するためには、品物を置くスペースが不足するので、すこし不便ですが会議室も売店にしてしまうのです。また、広いス

ペーアの第1プレイホールもこの管理棟にあります。ここは団体が食堂へ入るための待機場所として利用されますが、各種集会、キャンプ、ドールファイヤーの会場にもなります。この部屋の片隅には時折の周辺の自然を紹介する、季節によって入れ替えるようにしている簡単な展示があります。さらに一度に327名が利用できる「甲斐駒」と名づけられた食堂があります。利用団体は食事のたびにここを訪れるのでいつもにぎやかなのが管理棟です。この他に、印刷室、職員の更衣室、宿直室などもこの管理棟にあります。この管理棟は通常「センターハウス」と呼ばれています。



感想文より

日中は汗ばむほどのあたたかさになりました。

このあいだは八ヶ岳少年自然の家でいろいろなきかくをできるように用意してくださったおかげで、自然の中でのすばらしい体験をすることができました。特に野外すい飯でみんなでカレーを作ったことが印象に残っています。必要な道具などをそろえてくださっていたので、すばやくカレーを作れました。

自然の家の楽しさを感じることができました。本当にありがとうございました。では、お体にきをつけてお過ごしください。

六月十九日

(5年男子)

催しもの案内

ハヶ岳ふれあいイベント

土曜日、日曜日、祝日にグループ、家族でご利用いただく方を対象に、次のようなプログラムを用意しております。参加費は無料ですが材料費は必要。参加申し込み等、詳しくはお問い合わせください。

★ネイチャークラフト

小鳥の巣箱作り、バードコール作り、白樺クラフト、焼き板クラフトの中から一つを選びます。ハヶ岳での思い出に、自分で作ったものをお土産に持ち帰ることがができます。

★星空観察

19時～20時まで、アストロハウスで満天の星空を見ながら折々の星座観察と、大型天体望遠鏡での天体観察をします。木星や星雲や

星団などを見ることが出来ます。



ハヶ岳自然紀行

ハヶ岳の自然、地域、文化への理解を深めてもらえるように、毎月開催しています。

● 秋の味覚とハヶ岳ハイキング

・キノコ狩りとキノコ料理を楽しむと共に、すがすがしい秋のハヶ岳山ろくをハイキングします。

・10月18日～19日（1泊2日）

● 紅葉めぐりとそばうち体験

・カラマツを中心にした黄色に変わったハヶ岳山ろくに、真っ赤に色づく葉や実を觀賞しつつ、そばうちを体験して打ちたての美味しいそばを賞味して頂きます。

・11月22日～24日（2泊3日）

● 初冬満喫 ハヶ岳のクラフトワークショップ

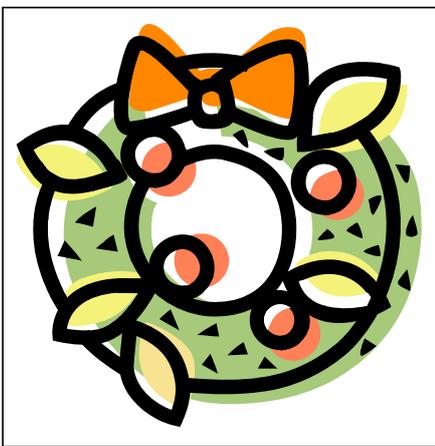
・ハヶ岳の自然の素材を使ってリースを作ったりし、ハヶ岳の冬の訪れを感じて頂きます。

・12月13日～14日（1泊2日）

費用、内容、申し込み方法等、詳細についてはお問い合わせください。

あとがき

8月も半ばを過ぎると秋風が吹き始め、すすきの穂が開きます。夏は多くの団体が毎日入れ替わり立ち代り入所して退所していきます。手ばかりで利用者に迷惑をかけてはいけなさと、緊張の毎日でしたが、今年も無事終了しました。そして8月末から2学期制が取り入れられた川崎市の小学校が、自然教室でやってきて、少年自然の家の夏が終わりました。



川崎市八ヶ岳少年自然の家

〒399-0101 長野県諏訪郡富士見町境字広原

12067-482

TEL 0266-66-2011

Fax 0266-66-2014

ホームページでも情報をお伝えしています。

<http://www.kawasaki-yatugatake.jp/>

指定管理者 (社) 富士見町開発公社